

皆さん、「おはようございます」。

いろいろあった令和2年度も早いもので、今日で1年が終わります。皆さんにとって、この令和2年度はどのような1年でしたか。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、我慢の1年でした。そのような中で、生徒の皆さんが元気に登校して、一日一日を積み重ねてくれたことに感謝するとともに、一年間の成長を振り返り、皆さんのことを誇りに思います。加えて先生方も、生徒のことを一番に考えたうえで、保護者、地域に配慮し、オンライン授業、Google classroomの活用、学校行事など、課題を一つ一つ解決しながら進めてくれました。そのことに、皆さんは気付いているでしょうか。刻々と変わっていく状況の中で、相当な労力とストレスを抱えながら、1年間やりぬいてくれた先生方にも、この場でお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。

先ほどは、3学期分の表彰がたくさんありました。部活動、学習活動、自主的な活動等、それぞれの場面ですばらしい成果を収めた皆さんを誇らしく思います。仲間のがんばりを共に認め合い、讃え合える、このことは、学校に人が集うことの大きな意義であることを、もう一度、皆さんに見つめ直して欲しいと強く願います。

つい先日、ライフデザイン科が文部科学省から研究指定を受けている、地域協働の研究成果報告会が行われました。生徒の皆さんの堂々とした発表、入学してからの成長を感じ、本当にうれしく思いました。普通科の皆さんも総合的な探究の時間や校外での活動などチャンスを見つけて、積極的に参加してほしいと思います。

それでは、年度の終わりに、一つ言葉を紹介します。昨年放送された、NHK朝の連続テレビ小説「エール」の中で、女優の森七菜さん演じる文学少女の「梅」がつぶやいた言葉です。「運命は偶然よりも必然である。」これは、作家、芥川龍之介の言葉です。「運命は逆らえないものだと思われがちだが、人間の意志で、運命は定まる。」という意味に解釈できます。

私が卒業式の式辞で話した、「人間の生き方は二つある。一つは、目標を持って、それに到達すべく努力をする生き方。もう一つは、目の前のことをコツコツやって、自分に何ができるのかと自分探しをしながら生きる、気が付いたらここまで来ることができたという生き方。」そして、本校の校是「積微力行」。今までの始業式、終業式で話したことももう一度思い起こしながら、「人間の意志で、運命は定まる。」について、考えてみてほしいと思います。

年度変わりは、リセットするタイミングでもあります。春休みは、自分を見つめ、しっかり考え、悩み、チャレンジし、少し立ち止まり、・・・人それぞれですが、どれも価値あることだと思っています。

いよいよ、2年生は学校を牽引する最上級生の新3年生に、1年生は学校を支える新2年生になります。「自分の意志で運命が決まる。」ワンランク上の自分づくりを目指す皆さんを期待して、式辞とします。